

特集1 第3期群馬県教育振興基本計画

2019 ▶ 2023

★群馬県の教育を取り巻く状況★

人口減少と少子高齢化の進行

人口が減り少子高齢化が進む中、医学の進歩などにより「人生100年時代」の到来が予測されています。

社会全体が変化する中で、群馬県の教育を取り巻く状況も大きく変わってきています。

グローバル化と技術革新の進展

外国人の人気がもっと身近になります。AIなどの技術革新が一層進展する中で、教育の在り方が問われています。

家庭や地域社会の変化

世帯の人数が少なくなり、地域で助け合いが必要になるなど、地域と家庭の在り方が問われています。

新学習指導要領の全面実施

英語教育の早期化など、子どもたちが学校で受ける授業が変わります。

★基本目標に込められた思い★

第3期群馬県教育振興基本計画は、教育に関するさまざまな分野の専門家が話し合って策定しました。

その話し合いの中で、次のような意見が出されました。



生涯にわたり一人一人が持つ個性や能力を伸ばし、可能性を育もう

これまでの教育から継続することと、時代に合わせて変えることの両方を大切にしよう

誰もが互いに多様性を認め合い、共に支え合う社会をつくっていこう

地域の活力を学校づくりに、学校の活力を地域の活性化に役立てよう

「学びに向かう力」や豊かな人間性を育成します

- 新学習指導要領の全面実施を踏まえて、英語教育の早期化・高度化、プログラミング教育、道徳の教科化などに対応します。
- 児童生徒が興味・関心を持ち、主体的に取り組める授業づくりを行います。
- いじめ防止フォーラムなど子どもたちによる自主的ないじめ防止活動を支援し、いじめを許さない心を育んでいきます。



意見を交わしながら学ぶ生徒（館林市立第三中学校）

計画の内容の一覧

活動と休養のバランスに配慮して部活動を運営します



- 子どもたちにとってより良い部活動を目指して、部活動指導員の配置などの環境整備に取り組みます。
- 部活動の休養日を有効活用できる体験活動や地域活動を推進します。

郷土の自然や文化を学び、異文化への理解を深めます



- 尾瀬や世界遺産、古墳などの郷土資源を活用した学びにより、郷土への誇りを育みます。
- 世界のさまざまな国や地域の文化を授業で取り上げるなど、国際理解教育を充実させるとともに、外国語によるコミュニケーション能力を向上させます。

第3期群馬県教育振興基本計画は県ホームページからダウンロードできます。